



## 夏学タイムズ 2015.8

国立女性教育会館

〒355-4252

埼玉県比叡園山町菅谷 728 番地

TEL:0483432-6724・6725

FAX:0483432-6720

https://www.facebook.com/pages/Girl-Meets-

Science-and-Technology/754352734422782



## 夏学って??

今回集まったみなさんは文字通り全国から選ばれし 120 弱名!しかーし、長く貴重な楽しい夏休みをどうしてこの「学校」なんぞにつかかわにやらんのだ!?なんて感じる子もひょっとしたらいるかも。ここでは、そんな夏の学校が何のためにあるのか説明しちゃいます☆

これから先、理系に進もう!とみなさんが決める時、そのきっかけは何でしょうか?物理が好き、数学が好き、将来データサイエンスの仕事がしたい・・実はとっても多様な理系の仕事、いろいろなお仕事のことを大学に入る前から知っていたらもっと、理系のことがおもしろくなって、将来の選択の幅も広がるんじゃないでしょうか?

そこで毎年八月初めに開催されるのがこの「夏の学校」なんです。二泊三日で理系のお仕事にどんなものがあるのかを学んだり、実際にワークショップを通して、理系の面白さを知ってもらったり、文字通り、初めて会う予選と一緒のグループになって交流を深め、お互いに理系に勧むきっかけとなるのもこのプログラムの醍醐味のひとつですが、一番の目的は今後みなさんが進路を選



初対面でもすぐ打ち明けて

# 女子中高生 夏の学校2015

～科学・技術・人との出会い～

ぶうえでの参考にしてほしい、ということ。そんな願いがこもっているということを忘れないでくださいね(〃)

## 今年の オススメ企画

夏学は、たくさんの“出会い”の場があります。

夏学には、哲さんだけでなく、企業で働く研究者や技術者、みなさんよりちょっぴり先輩の理系女子大生など、様々な人が参加をしています。ぜひ、たくさんの人とお話してみてください。なにか、新しい発見があるかもしれません。そして、一人でも、たくさんでも、自分がこ

の人みたいになりたいと思える「モデル」を探してみましょう。2 日日夜のキャリアプランニングでは、「モデル」の人達をヒントにしなが、将来の夢、未来の自分を想像して自分だけのタイムラインをつくります。

夏学のみどころはこれだけではありません!3 日間を通して、班対班余両も用意されているのです。同じ班の皆で協力し合えば、初対面でもきっと仲良くなれることでしょう。いま隣に座っている人が、一生の友達になる可能性だって大いにあるのです。たくさん同年代の人と出会って、お話ししてみましょう。もしかして、同じ悩みを持っているかも…?

3 日間を通じて、ぜひ1人1人との“出会い”を大切にしてください。

## リケジョの魅力

### 魅力

理系ってどんな感じ?と周りに聞かれたら・・・実験でフラスコをぶくぶく・・・料理の中の化学組成を覚えて気液たっぷりにアレンジ。数字をみて目がキラキラ。単に文系よりもかっこいいじゃん!という人もいるかもしれない。

じゃあ、そのお仕事に実際どんなものがあるかどのくらい知っていますか?研究者、医者、薬剤師!とつぎに出てくるのはこんなところ。でも研究者と一口に言っても、業の研究、建築物の耐震構造の考案、土木技術でトンチンカチやることもあればプログラム開発まで実に様々。一般の方に化学の面白さを伝えたりするお仕事や、福祉活動で海外へ派遣!などなど。つまりこんな職業が理系にあつたんだ!って発見することも。まだまだ少ないリケジョ。今、採用の現場では、取り合いになってるという話もあるようです。そんなリケジョの魅力、夏学で見ることができるかな?



# 夏学<sup>ナツガク</sup>の歴史

夏学は、昨年（2014年）10周年を迎えました。  
夏学のこれまでにについて、年表形式でご紹介します。

- 2005年 夏学開始。多様な学会や協会が参加。国立女性教育会館（NWEC）での会館、女子大学生・大学院生のボランティアが夏学に集まりました。
- 2006年 体験プログラム（実験など）会場が2泊3日になりました。
- 2007年 実験の数が増えました。交流促進プログラムも始めました。学生企画、「サイエンスかるた」と「サイエンスバトル」も始まりました。
- 2008年 サイエンスアンバサダーの開始。中学3年生の参加が始まりました。国際交流プログラム、夏学タイムズの発行。
- 2009年 メンター制度。保護者・教員プログラムの開始。
- 2010年 ロールモデル集を作成しました。学生企画「サイエンスかるた」にかわって「才媛双六」が登場しました。
- 2011年 夏学による節電要請でNWECでの会館は開催できませんでした。土木学会の協力のもと1日だけの夏学開催となりました。
- 2012年 NWECでの会館研修を再開しました。
- 2013年 応募者が220人を超えました。国際交流がスカイプを使ったバーチャル対面からリアルな対面に変わりました。
- 2014年 夏学の副題を「科学・技術・人との出会い」へ変更しました。学生企画が装いもあらたになり、「T-future～理想人生を体験しよう」の始まりです。夏学の最終日に全員が参加する「体験型実験」を行いました。テーマは「人間コンピュータ」です。

## 昨年の参加者の声



私自身、夏学で学ばせていただいたものが多く、家に帰ったらすぐにでもいろいろな人にこの体験を紹介したいと思っていました。夏学のすばらしさや魅力を伝えられたことがとてもうれしいです。私はもちろん来年も参加したいと思っていますし、同じ学校の友達も参加したいという人が増えていきます。



夏学が終わって初めての部活（化学研究会）で皆でお昼ご飯を食べながら話しました。ポスター展示ではたくさんの方々と話せて最先端の新設備や製菓の技術に触れられたこと、キャリア相談で東大の先生に進路相談ができたこと、またその相談からあきらめていた夢を挑戦してみようと思ったこと、全国に理系女子の友達ができ、今でも交流を続けられていること等を話しました。皆とても興味を持って聞いてくれました。

夏学2日目に体験した放射線の測定とポスター展示の時に聞いた放射線に関する仕事やその他の仕事の資格を取得する方法を資料を見せながら伝えました。

その話をした相手はほとんどが文系志望でしたが、放射線が身近に使われていることや一つの職業にもなるにも様々な道があることを知って、文理選択をもう一度考えてみようと言われた時はとてもうれしかったです。

友達に夏学で行った実験やプログラムなどについて説明しました。すると友達は、「いろいろな分野の人から話を聞くことができ進路が広がらそうだし、楽しそう。自分も来年は参加したい。」と話していました。私たちの体験を伝えることで、たくさんの方が夏学に参加し、より進路について明るく希望をもって考えるようになってほしいと思いました。これからももっと伝えます。!!



私は夏学でコンピュータで動くバイオの世界の講座を受けさせていただきました。タンパク質の形状や仕組みをまだ理解できていなかったのですが、楽しかったのですが、不思議な形をしていてわくわくしました。岡山に帰り、より深く理解したいと思い、図書館へ行き、タンパク質や遺伝子のことを調べました。そのことと感想をまとめ、レポートに仕上げ、学校の先生に提出しました。



## 柏原先生(理学部教授)からのメッセージ

夏学に参加することで、理系のさまざまな研究者・技術者と交流して、理想抱負した場合の将来のイメージを掴んでもらえるとうれしいです。

また、同世代の理系志望の女子生達同士との交流を深めて、情報交換に生かしましょう。

